

ARTS for HOPE 活動報告書

2011年10月29日～31日

①10月29日／宮城県亶理郡亶理町「中央児童センター」
Happy Doll Projectの実施

秋晴れの日。外で遊んでいた子どもたちですが縫い物にも興味津々。それぞれに面白い作品を仕上げてくれました。仮設住宅から通い子どもたちを支えている職員さんも一緒になって楽しんでくれました。クレヨンもプレゼント。



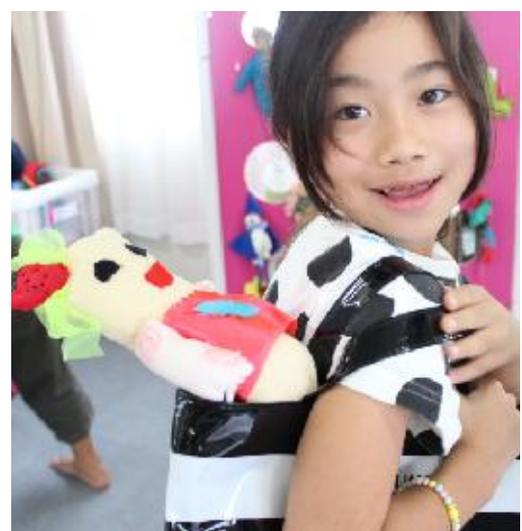
②10月29日／宮城県岩沼市「南児童館」
Happy Doll Projectの実施

アットホームな児童館で女の子も男の子も夢中になって人形や枕を作りました。子どもたちの会話の隅っこに顔をのぞかせる震災の大きな影響。利用者の中には南相馬から避難している子どもたちもたくさんいるそうです。クレヨンもプレゼントしました。



③10月30日／ 福島県相馬市「西工業団地応急仮設住宅」
Happy Doll Projectの実施

団地の中にある135戸の仮設住宅。以前避難所の小学校で一緒に絵を描いた子どもたちと再会。身近の変化に翻弄される子どもたちにもわずかな変化を感じたプログラムでした。温かいココアとお菓子のサービスも実施。



④10月30日／福島県相馬市「刈敷田団地応急仮設住宅」
Happy Doll Projectの実施

団地内にある48戸の仮設住宅。おばちゃんたちは生活に必要な針刺しや巾着を、子どもたちは髪留めやポシエットを作成。笑い声の堪えない賑やかな会場に巡回中のお巡りさんも見学に。温かいコーヒーサービスも実施。



⑤10月31日／宮城県岩沼市「総合南東北病院」
Happy Doll Projectの実施 ※Wonder Art Productionの活動として実施



市の中心部にある病院。付近は震災の大きな爪痕が残され
すぐ隣に仮設住宅が建設されています。この日は回復リハ
ビリテーション病棟やホームのご高齢者が予想以上に集ま
り、晴れ渡るような笑顔を見せて下さいました。



Happy Doll Projectの支援企業、サノフィ・アベンティスのご担当者と社員ボランティアさんが参加下さいました。